



## 第12章

### 広域連携について



## 第12章 広域連携について

西播磨地域の都市計画区域の将来像を定めた「都市計画区域マスタープラン」などを踏まえた、中播磨圏域における広域的な立地適正化の方針を作成するため、鉄道沿線まちづくり協議会を立ち上げました。また、作成した方針に基づき、播磨圏域鉄道沿線まちづくり計画を作成することを目標として、公共交通を中心とした持続可能な地域づくりに向けたまちづくりに取り組めます。

### 12.1 中播磨圏域の立地適正化の方針について

#### (1)背景と目的

##### ①背景

人口減少社会においては、公共サービスや公共交通サービスの低下とともに、市民生活の利便性や質の低下などが課題として挙げられています。こうした課題に対応するため、都市全体を見渡した「コンパクト+ネットワーク」の都市構造の実現を目指し、中播磨圏域において、複数の市町と公共交通事業者が連携し、圏域全体で人口減少社会においても、持続可能な都市圏を形成する必要があります。

##### ②目的

中播磨圏域の都市構造の現状と課題を把握し、中播磨圏域のおおむね20年後における持続可能な都市圏域の形成に向けて、今後取り組むべきまちづくりの方針を示すものです。

#### (2)協議会の構成

名称 : 播磨圏域鉄道沿線まちづくり協議会 委員 : (地方公共団体) 姫路市、たつの市、太子町、福崎町 (公共交通事業者) 山陽電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、神姫バス(株) 特別委員 : 兵庫県 特別顧問 : 国土交通省
---

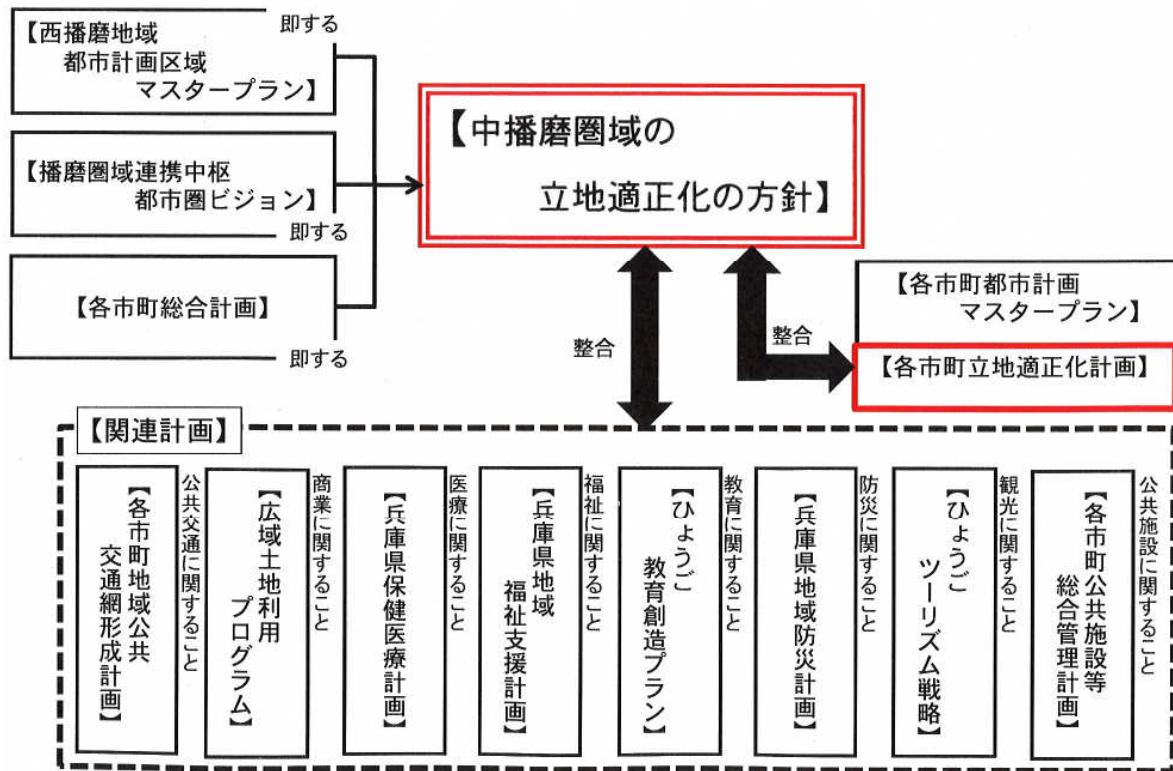
#### (3)期間

平成 29(2017)年度 ~ 平成 52(2040)年度
-------------------------------

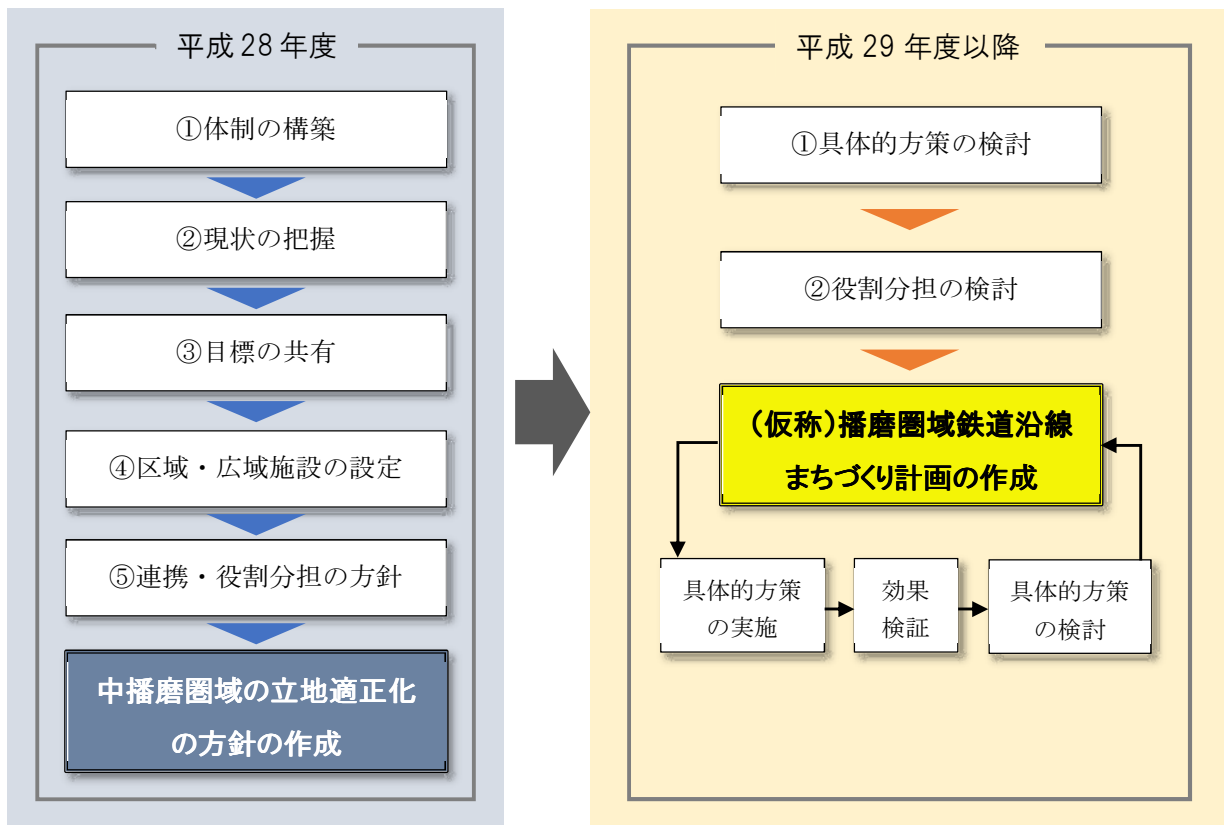
#### (4)対象区域

2市2町域内
--------

(5)位置付け

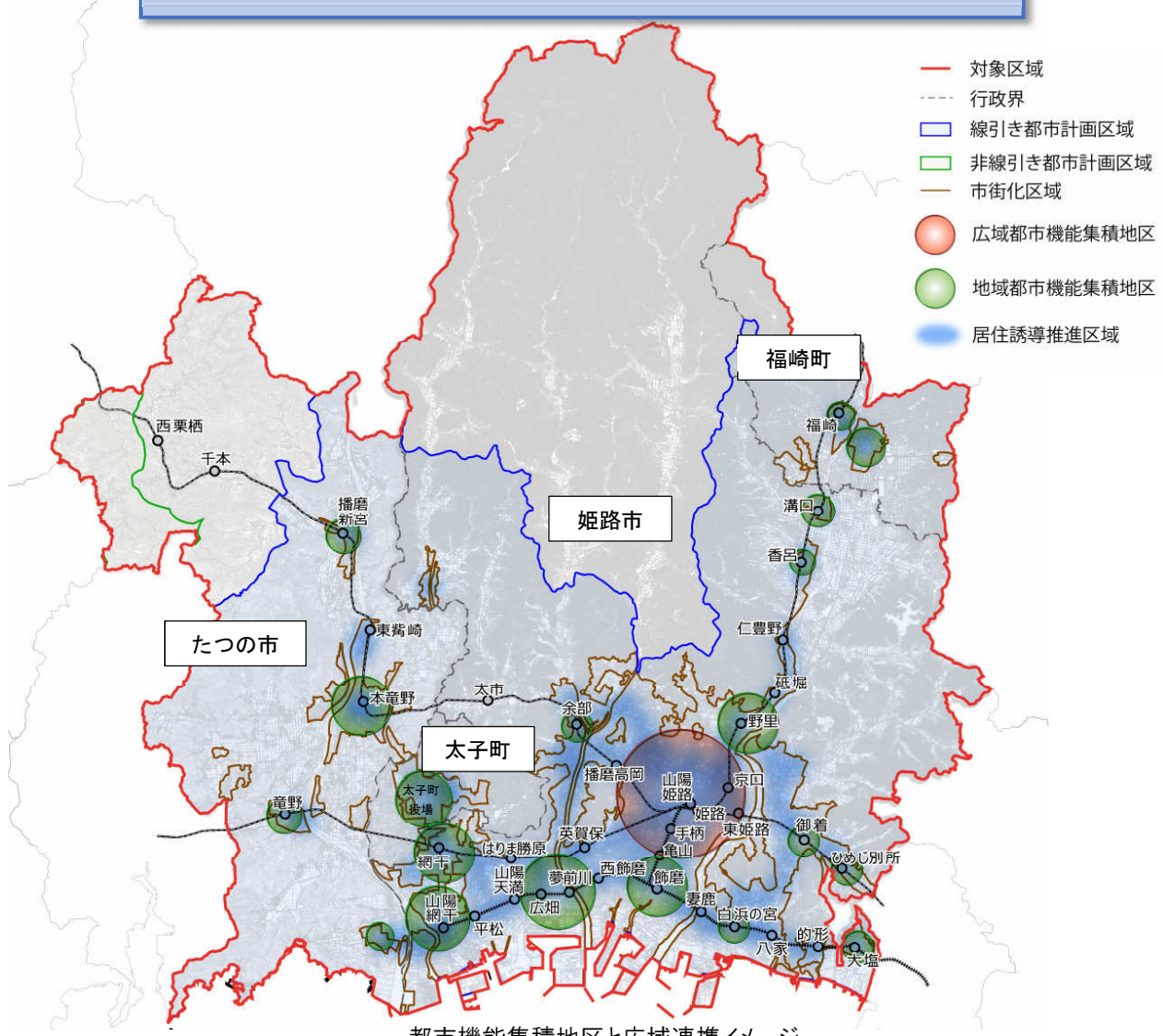


12.2 活動計画



12.3 目指すべき都市像

活力あふれる持続可能な地域連携型都市圏 中播磨



都市機能集積地区と広域連携イメージ

[高次都市機能増進施設の立地状況]

分野	高次都市機能	施設有無				役割分担
		姫路市	たつの市	太子町	福崎町	
医療機関	三次救急医療機関	○				姫路市
	二次救急医療機関	○	○			姫路市 たつの市
教育機関	大学	○			○	姫路市 福崎町
	短期大学	○				姫路市
	専修学校	○				姫路市
	高等学校	○	○	○	○	相互補完
文化施設	図書館	○	○	○	○	相互補完
	美術館・博物館・文化会館	○	○	○	○	相互補完
スポーツ施設等	体育館	○	○	○	○	相互補完
	総合公園	○	○	○		姫路市 たつの市 太子町
主要コンベンション施設		○				姫路市
商業施設 (店舗面積 10,000 m <sup>2</sup> 以上)	百貨店、大型SC等	○	○			姫路市 たつの市